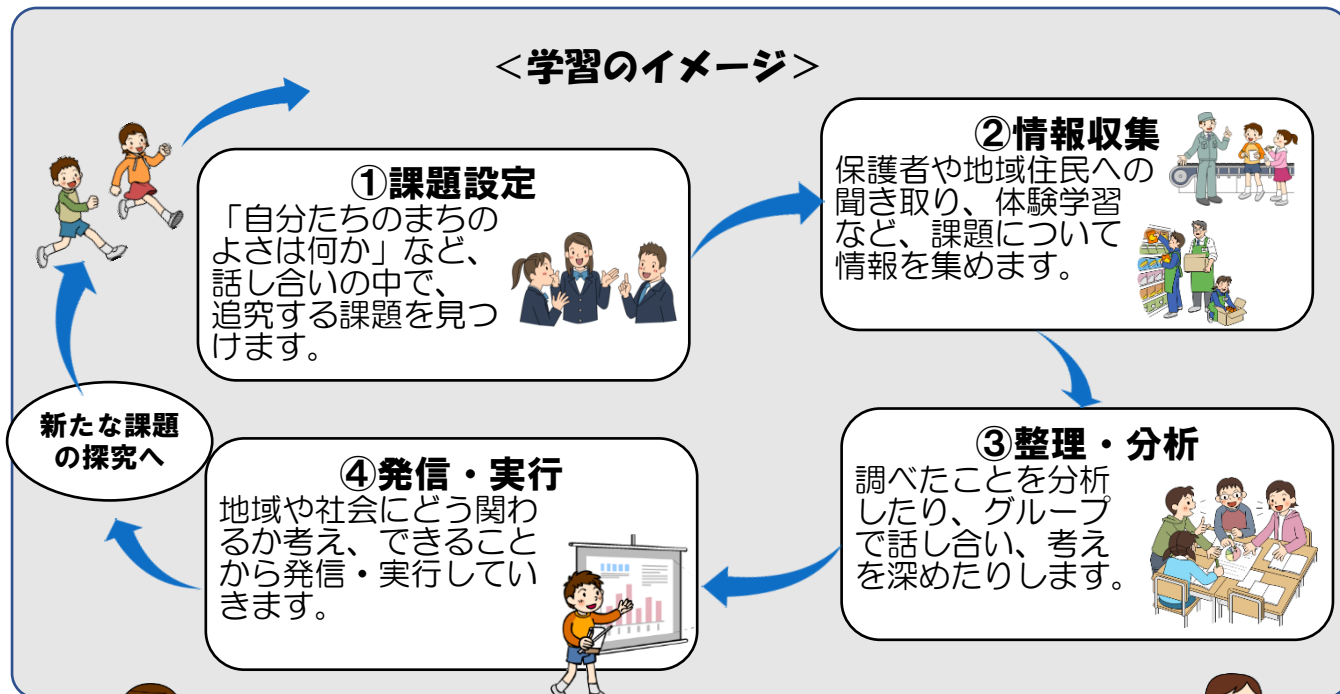


## 未来の創り手を育てる「武蔵野市民科」の取組について

世の中が大きく変化する中、一人一人が幸せな社会をつくるには、「よりよい地域・社会づくりに参画していく資質・能力（市民性）」が大切です。そこで、武蔵野市では、子どもたちの市民性を育むために、令和3年度から「武蔵野市民科」の学習に取り組んでいます。



### <武蔵野市民科についてのQ&A>

**Q 新しい教科ができるということですか？**

A いいえ。総合的な学習の時間、各教科、特別の教科 道徳などを組み合わせ、学校のこれまでの実践を生かす形で行う予定です。

**Q 何年生から実施するんですか？**

A 小学校第5学年から中学校第3学年の学年で年1回以上、実施する予定です。

**Q なぜ、武蔵野市民科が必要なんですか？**

A 武蔵野市民科として学校の教育課程に明確に位置付けることで、たとえ教員が異動しても、継続的に実施できます。また、地域や保護者の皆様に市民性の育成の重要性を発信しやすくなり、共に社会をつくる協働体制の構築にもつながります。

**Q どのように評価をするんですか？**

A 通知表の「総合的な学習の時間」や「総合所見」で学習の成果を文章でお伝えします。

### <自校の今年度の取組予定>

○【協働】長期宿泊体験活動

「出会い・発見 セカンドスクール」…友達との『語らいの時間』を毎日設定することで、互いの意見を分かり合える場を整えた。

○【社会参画】 福祉・ボランティア

「共に生きる社会を目指して」…地域の高齢者施設と連携し誰もが住みやすい街づくりについて具体的に考え、地域社会に参画することができるようにした。